

山口県体育学会第 67 回大会

ご 案 内

時下、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学会の発展につきまして、御高配賜わり誠にありがとうございます。
さて、標記大会を下記の要領にて開催いたします。
多忙の折りとは存じますが、是非、ご参加下さいますようお願い申し上げます

記

日 時 : 令和 4 年 12 月 18 日 (日)

10:00~ (受付 9:30~)

場 所 : 至誠館大学 3号館 311 教室

(〒758-8585 萩市椿東浦田 5000)

主 催 : 山口県体育学会

(ホームページ : <http://www.yamaguhi-taiiku.jp/index.html>)

後 援 : 至誠館大学

至誠館大学キャンパスマップ



※お車でお越しの方は、上記マップの **駐車場** にお停めください。

—大会プログラム—

受付 9:30～
開会の辞 10:00～10:05

1. 一般研究発表（発表 10 分・質疑 3 分）

座長 瀬尾 賢一郎（周南公立大学）

10:06～10:19

1. 陸上スクールの設立・運営について

藤田昌彦（株式会社弥栄）

令和 4 年度より、陸上スクールを立ち上げた。その経緯、これまでの歩み、見えてきた課題、令和 5 年度からの部活動の地域移行による対応等々、様々なニーズと今後の方向性について、これからも取り組んでいきたい。今回は、その取り組みのスタートについての概要を説明する。

キーワード：部活動、営利、指導者、経営

10:20～10:33

2. 中学校部活動の地域化に対する取り組み事例－萩市内の柔道部に着目して－

大藤潤也（至誠館大学）

これまで実施されてきた部活動は学校教育活動の一環として位置づけられており、校務分掌において役割を分担し教員が指導を行ってきた経緯がある。しかし、新しい時代の教育に向けた持続可能な学習指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革として、部活動は学校の業務であるが、必ずしも教師が担う必要のない業務であるとされた。そこでスポーツ庁は令和 5 年度より、運動部活動の主体を「学校単位」から「地域単位」に変更していくことを発表した。この施策に則り、萩市では先行的に中高大での連携を図り、合同練習会を実施しており、その実践報告とともに、子どもたちの学びについて報告する。

キーワード：運動部活動、地域移行

10:34～10:47

3. 中山間地域におけるスポーツイベントと地域活性化に関する検討－浜田市旭町スポーツ雪合戦の事例－

徳川竜馬・難波江美菜・岡崎祐介（至誠館大学）

スポーツイベントによる地域活性化や地域愛着に関する研究はこれまでも報告されているが、スポーツ雪合戦に焦点を当てたものは少ない。本研究では、浜田市旭町で開催されている「雪合戦大会（夏の陣）」への参加者を対象に質問紙調査とインタビュー調査を実施し、スポーツ雪合戦による地域振興の現状とこれまでの取組について検討した。その結

果、参加者のスポーツ雪合戦や旭町に対する肯定的な評価が多くみられた。一方で、今後の継続的な大会運営や参加者の確保について検討していく必要性が示唆された。

キーワード：スポーツイベント、地域活性化、スポーツ雪合戦

座長 青木 健（山口大学教育学部）

10:50～11:03

4. 中学校体育のバレーボールの授業を対象とした学習意欲を高めるゲーミフィケーションの活用

齊藤雅記（山口大学教育学部）、杉山隼一（山口大学教職大学院）

アルベルトら（2020）は教育にゲーミフィケーションを活用することで、「学習者の学習意欲（外発的動機づけ）によい影響を与えること」、「学業成績に有益であることが示唆される」と述べている。そこで、本研究は、中学校体育のバレーボールの授業を対象として、主に「チームでのレベルアップ」と「チームでの称号獲得」の2つのゲーミフィケーションを活用し、生徒の学習意欲を高めることができる授業の実現を目的とした。授業の成果の分析のため、生徒の学習意欲を高めることができたかを授業前後の診断的・総括的評価、毎授業の最後に行った形成的評価、ゲーム内での三回つないでラリーを続けた回数、三段攻撃の出現回数のデータを取得し、検討していく。

キーワード：学習意欲、ゲーミフィケーション

11:04～11:17

5. 1905年国定読本「唱歌遊戯教授書」にみる、ベビーポルカの再現と検討

船場大資（山口学芸大学）、小野隆洋（山口芸術短期大学）

国定読本「唱歌遊戯教授書」は明治期に発刊された教科書の初版である。これまで、唱歌遊戯や行進遊戯は歴史分野の中で多くが検討されてきた。本研究では、同書の作曲者である吉田信太が刊行した『遊戯舞踏楽譜』（同書は、国定読本の参考書の位置づけとなっている）から当時のダンスの再現を試み、当時の唱歌遊戯の歴史的意義を考察した。また、『遊戯舞踏楽譜』は、現在日本の図書館においても2館しか現存していないと思われ、本資料から当時の唱歌遊戯を検証することは、近代日本のダンス教育史に新たな知見を与えてくれるもの考えられる。

キーワード：唱歌遊戯教授書、ベビーポルカ

11:18～11:31

6. eスポーツ実施前後における心身の変化に着目した研究のシステマティックレビュー

鳥山稔（至誠館大学）

近年では、eスポーツを学校教育に取り入れる事例や、高齢者の認知症予防に用いる事

例が増えており、全国的に e スポーツを活用した取り組みが増加傾向にある。しかし一方で、e スポーツを用いた研究、特に e スポーツを実施する事でどのような効果があるのかについて焦点を当てた研究の整理は未だ不十分である。

したがって本研究では、e スポーツの実施前後における心身の変化に着目した研究のシステマティックレビューを行う。分析の手順は、舟橋ら（2020）を参考に、①PICOSによる論文選定基準の設定、②論文検索、③レビュー対象の選択、④システマティック・マップの作成の4つの段階を設定した。

本研究の結果より、収集した論文を複数のカテゴリに分けることが出来た。結果の詳細については学会当日に紹介する。

キーワード：e スポーツ、システマティックレビュー、比較分析

II. 特別講演

進行 岡崎 祐介（至誠館大学）

11:45～12:45

「体育教師教育者の専門性開発とその研究動向の探究への誘い」

岩田 昌太郎 先生

広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授

欧米において 1990 年頃から、わが国では 2010 年頃から「教師教育者 (Teacher Educator)」の存在やその役割が注目を集めている。しかしながら、欧米と日本では教師教育者を取り巻く背景等が異なるため、日本固有の教師教育者の研究や専門性開発について、さらに議論や研究の蓄積が求められている。

他方で、2021 年 11 月に「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの実現に向けて(審議まとめ)」,そして 2022 年 6 月に「『令和の日本型 学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(審議経過報告(素案))」といった政策提言が示されたように、教師の学びを促す仕組みが検討されている。これらを進めていく上で鍵を握るのが、まさに教師教育者の存在であり、教師教育の質的改善に大きな影響を与えるといってもよい。今後の学校教育を取り巻く環境が急速に変化を遂げる中、子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出す体育授業を実現するとともに、そのような体育学習を直接的に担う教師の専門性をいかに育むかが重要な課題になっている。

このような問題意識のもと、今後の体育教員養成や現職教育といった体育教師教育の研究推進につなげることを目的に、教師教育者の専門性開発の仕組みとその研究動向について紹介する。

Ⅲ. 総 会 12:50～

報告事項

- 1.令和 3（2021）年度会計報告
- 2.令和 4（2022）年度事業および会計経過報告
- 3.令和 4（2022）年度日本体育学会報告
- 4.その他

協議事項

- 1.令和 5（2023）年度事業計画について
- 2.令和 5（2023）年度会計予算について

以上

【 演者の方へ 】

- パワーポイントを使って発表される演者の方は、PC（OS: Windows）とプロジェクターをこちらで用意いたします。ただし、ソフトは、PowerPoint 2016 ですのでご注意ください。
- プリントを配布される方は、資料を 30 部ほど各自でご用意ください。
- これら以外の方法で発表される方は、事務局までご連絡ください。

【 参加者の皆様へ 】

- 大会参加費は、無料です。
- 山口県体育学会会員の方は、年会費（¥2,000）の納入をお願いします。
- 本学会への入会を希望される方は、ホームページの「入会案内」をご覧ください。

【 お知らせ 】

『山口県体育学研究』第 66 号への投稿を募集しています。
なお、投稿についての詳細は、『山口県体育学研究』の「投稿規定」をご覧ください。

山口県体育学会事務局

〒758-8585 萩市椿東浦田 5000
至誠館大学現代社会学部岡崎研究室内
電話 0838-24-4000（代表）
FAX 0838-24-4090（代表）
E-mail : y.okazaki@shiseikan.ac.jp